

新茶摘み後日談

茶摘み・品評会の結果

自然と農業サークル
浪間 扶美子

自然と農業サークルでは令和3年4月に初めて狭山茶工房 政貴増田園の茶摘みボランティアを行いました。他サークルからの参加を含め2日間で29名の協力を得ました。

大変遅くなりましたが、その時摘みました茶葉の「新茶品評会」の結果を報告させていただきます。

残念、全国品評会では 農林大臣賞 は逃しました！ が次席。所沢地区でも受賞していますがまだ賞状は届いていませんでした。賞状があるのは関東ブロックだけで関東茶品評会、金賞受賞関東農政局長賞を受賞しています。



増田さんからは過大な感謝の言葉とお礼を頂きました。

以下は増田さんのお話です。

昨年度はコロナ禍で品評会は全て中止、そして今年も開催するかしないか全く不明という状況だった。また、茶摘み娘さんがいない、確保できないという難題があった。昔は貸し切りバスで参加してくれた程だったが、今は5人程度しか確保できていなかった。これでは茶摘みは出来ないと思いあぐねていた時にボランティアの申し込みを受けた。しかしこれもどこまで信用できる話か分からない。こんな状況で今年は今1つ気持ちに気合が入っていなかった。

ところが、当日になったら沢山の参加があり本当だったのだと驚き慌ててしまう程だった。お陰で茶葉を沢山摘むことが出来た。摘むことが出来たから品評会にも出品することが出来た。これはもう皆さんのお陰で本当に感謝している。という事でした。

後日、新茶のお土産を頂き、更に12月中旬、来年の干支「トラ」のロゴ入りマグカップと柚子を皆さんに頂きこちらとしては恐縮しています。

来年もボランティアに入る旨お伝えしますと「気合を入れて準備し良い木を育て良い茶を作るから・・・」と笑顔で話されていました。

参加して頂いた方本当に有難うございました。来年も参加を宜しく願います。また、茶摘みをやってみたいと思われている方は是非参加してみてください。お待ちしております。

令和3年12月20日